

私のすすめるこの1冊

佐川 早季子 (幼児教育科 准教授)

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ (著)

2020年度から幼児教育科の教員に着任しました。大学教員であり、研究者であり、中・小学生の子どもをもつ一人の母親でもあります。今回は、そんな顔をもつ私から、学生のみなさんにおすすめしたい本を紹介します。

著者のブレイディみかこさんは、福岡市出身、パンクロックが好きで渡英、そこでアイルランド系の英国人の夫と知りあい、結婚して1996年からブライトンに住み始めたという方です。「最底辺保育所」で保育士もされていました。

本の概要はこうです。

優等生の「ぼく」が通う元・底辺中学は、毎日が事件の連続。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とパンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていく(新潮社HPより)。

たとえば、息子さんとブレイディさんは、こんな会話をします。

「でも、多様性っていいことなんですよ？学校でそう教わったけど」

「うん」

「じゃあ、どうして多様性があるとややこしくなるの？」

「多様性ってやつは物事をややこしくするし、喧嘩や争いが絶えないし、そりゃない方が楽よ」

「楽じゃないものが、どうしていいの？」

「楽ばっかりしていると、無知になるから」

私はこの箇所を読んで二重の意味でギクリとしました。多様性はややこしく、ない方が楽、でも楽をしていると無

知になるという会話に「確かに」と思ったと同時に、私はこんな会話を子どもたちとするだろうかと思ったからです。

それから、中学校にシティズンシップ・エデュケーションという科目があるらしいのですが、その試験問題をめぐる親子の会話がこちらです。

「試験って、どんな問題が出るの？」(略)

「めっちゃ簡単。期末試験の最初の問題が『エンパシーとは何か』だった。(略)」

得意そうに言っている息子の脇で、配偶者が言った。

「ええっ。いきなり『エンパシーとは何か』とか言われて俺はわからねえぞ。それ、めっちゃディープっていうか、難しくね？で、お前、何て答えを書いたんだ？」

「自分で誰かの靴を履いてみるって書いて」

日本語では、empathyは「共感」と訳されるとのこと。誰かの靴を履いてみるのがなぜ共感なのか？この先は、ぜひ本を手にとってみてください。

投票に行くといったことや、国や自治体が行う「大きな政治」以外にも、日々の生活の中には、「小さな政治」の力動があらこちらに渦巻いています。本の中で息子さんが直面した「差別を前に、あなたはどうする？」という問いのように。その問いに私たちは気づいているだろうか？無自覚に何かを選択し、何かに加担していないだろうか？と私はこの本を読んで自問しました。子どもを、問いに対して自分なりに答えようとする市民として見るのかどうかでも、かかわりは大きく違ってきそうです。日常のなかにある小さな問いにまずは気づき、子どもたちと対話しよう、それは厄介だけれど、綻びの中から何か芽吹くものがあるはずだ、と思っています。



学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

8月は、3日(月)・4日(火)・5日(木)
15:00~17:00です。



お待ちしております！

支援員からみなさんへ

藤野真子 数学教育専修 M2

私は、数学教育の大学院生で解析学ゼミに所属しており、熱方程式やルベーグ積分論、ざっくりという、皆さんが想像するようながっつり数学！という内容を勉強しています。ですので数学科の学生さんはもちろん、小内論数学やその他数学の勉強でレポートやテストに困っているという方のお手伝いができるかもしれません。遠慮せず足を運んでください。

また、数学を専門としていますが、本学の音楽科の授業を受講済みで音楽教員の免許も持っているのです。音楽についての質問(例えば、教採の2次で音楽のことで困っているなど)や免許を2つ以上取りたい方の相談にも対応できます！その他にも大学院進学の相談や学生生活で困っている悩み事があれば精一杯力になります！



石川大悟 数学教育専修 M2

僕は大学院で数学についての研究をしています。専門は解析学です。学部のところは数学をどのように勉強してよいかわからず、単位を取るのがやっとなという学生でした。

数学は高校との違いに戸惑う人が多いと思うので、わからないところがあれば気軽に相談してもらえればと思います。答えられる範囲で答えます。もちろん数学が苦手な人は算数や中学・高校数学についての質問も受け付けていますので気軽に相談してもらえればと思います。

算数・数学以外の質問も答えられるものであればできるだけ皆さんの力になればと思うので、ぜひ気軽に相談に来てください。お待ちしております。

古谷朋也 理科教育専修 M1

私は、理科教育研究室の村上先生のゼミに所属しながら、理科教育における省察(振り返り)について研究しています。子どもが、教師に教えられるだけでなく、自らの経験から深く学んでいけるような授業実践を考えています。また、探究活動にも取り組んでおり、卒業論文では、自分の興味があった“刃物”をテーマにして探究的に刃物づくりをしていました。「省察や探究活動に興味があるよ！」という方がいれば、遠慮なく話しに来てください。

図書館の学修支援では、主に理科の授業づくりや教員採用試験のアドバイスでお力になれると思います。私は、学生では珍しく小学校、中学校、高校での実習の経験があり、授業づくりの具体的なアドバイスができると思います。教員採用試験のについて知りたいことや分からないことがあれば、ぜひ相談しに来てください。お待ちしております！

青木駿介 数学教育専修 M2

僕は数学教育の中の空間図形分野を中心に、児童生徒や教員が使いやすく理解しやすいような教材開発を行っています。所属している研究室では、視線移動計測装置や脳活動計測装置を用いた実験をして学習者の様々な思考特性を分析しています。興味のある方は一度相談に来てください。

初等算数科教育や中等数学科教育の講義のTAも担当しています。授業内容や課題についての質問やレポートの書き方など不明な点があれば相談してください。来年度からは公立高校の数学教員として勤務しますのので、教員採用試験について(算数・数学や面接等の対策)のアドバイスもできるかと思います。わからない問題がありましたら持って来てください！一緒に考えます！

栗ありさ 数学教育専修 M2

「大学の授業でわからないところがあるけれど、先生に質問する勇気が出ない」、「教員採用試験の勉強に不安がある」、「wordやexcelの使い方が分からない」、このような疑問や悩みはありませんか。大学生活の中で困ったことがあれば、図書館2階に足を運んでみてください。どんな相談でも大歓迎です。

特に、私は数学科が専門で、来年からは公立高等学校に勤務する予定なので、初等算数科教育や中等数学科教育の授業、教育実習の授業づくり、教員採用試験の数学科の問題などでわからないところがあれば、ぜひ質問しに来てください。一緒に考えましょう！

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第22回のお知らせ

8月中旬YouTube 公開します！

【講師】田中 多佳子（音楽科 教授）

【テーマ】音楽って何だろう



主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月25日（土）～9月19日（土）

院生・教職員：7月11日（土）～9月5日（土）

【返却期限日】10月5日（月）

※卒業・修了予定者は9月10日（木）まで

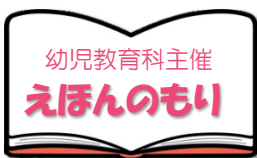
雑誌の製本作業について

8月から10月中旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2018年～2019年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。

※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

児童書コーナー（南館1階）



学生による絵本のよみかかせ
＜前期は、おやすみです＞



今月の絵本カード （学生作）

『ねずみのかいすいよく』

作：山下 明生

絵：いわむら かすお

出版社：ひさかたチャイルド

※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

日曜開館を実施します

試験期間前の日曜日（8月2日）を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

8月の投票期間は 1日（土）～19日（水）

新型コロナウイルス感染症対策継続中！

再開後の図書館につきまして新型コロナウイルス感染防止対策を継続して行っております。

- 閲覧席の利用制限
- グループ用閲覧席の利用中止
- テーブル間の衝立設置
- ビニールカーテン設置、ソーシャルディスタンスのためのサイン設置
- 閲覧席、機器、カウンター周辺、入退館ゲート、ドアノブの消毒作業

※研修・セミナー室3およびグループ学習室の学生利用について、一部の制限を緩和して受付しております。
※試験期間中の利用増加に対応し、1階、2階の閲覧席数半減、個人学習室利用中止は継続しつつ、企画展示室に臨時閲覧席を設置いたしました。



利用される皆様には

○入退館時にはアルコールで手指などを消毒してください。また、館内にも消毒用アルコールを設置しています。閲覧席や共用パソコンの利用前後など、必要に応じて各自で消毒を行ってください。

○こまめな手洗い、消毒、咳エチケット等にご協力をお願いします。

○密集・密接・密閉（3密）を避けるため、席は譲り合ってご利用いただき、不要不急の長時間の滞在はお控えください。

※マスクの着用をお願いします。

今後、変更が生じた場合は、附属図書館ホームページにてお知らせします。ご不便をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 田爪 宏二 (教育学科 准教授)

保育者養成短期大学の学生における実習経験の印象に及ぼす メンタライゼーション能力の影響

田爪 宏二 ・ 廣瀬 真喜子 ・ 増田 優子
京都教育大学紀要 2020, No. 136, pp. 17-28.

時折、学生の皆さんから「教師向きの性格とは?」「私の性格は教師に向いているのでしょうか?」という質問を受けます。そのようなとき私は、「自分の性格を活かすとどのような教師になれるだろうか」と考えるように薦めます。つまり、どのような性格や個性にも一長一短があり、向き不向きを考えるよりもそれをどのように活かすのかの方が重要であると考えられるのです。

本論文では、保育者(幼稚園教諭、保育士等)を志望する短期大学生を対象に、性格特性の1つとして、他者や自己の心理的状态や感情に対する理解や共感に関する能力であるメンタライゼーション能力を取り上げました。そして、この個人差が保育実習の経験に及ぼす影響について検討しました。分析の結果、メンタライゼーション能力が高い者ほど、実習において受ける指導を肯定的に捉え、中でも他者認知の能力が高い学生ほど自信を獲得していました。つまり、実習においては、保育の対象である子どもや、指導者の言動や態度、意図などに常に気を配る必要があるため、それがうまくできるか否かが実習の成否に関与すると考えられるのです。

本論文の対象は保育者養成短期大学の学生ですが、研究結果は本学における教員養成に対しても関連する部分があると考えられます。特に、性格自体を変えることは難しいとしても、他者や自分自信の心理への気づきを意識したり、その得意さや苦手さを自覚したりすることで、実習や教職に対する自信を高め、教師としての資質の向上を図ることが出来るのではないかと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 136号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2020年8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8/3-8/7 前期末試験
8/8-9/30 夏季休業
8/13-8/14 夏季一斉休業

2020年9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9/2 館内整理日
9/5 大学院入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.239 (2020年8月号)

発行日:2020年8月3日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION